

12. ベトナム・メコンデルタにおける豚回虫の感染状況と駆虫の経済効果

〔要約〕ベトナム・メコンデルタで飼養される豚について豚回虫 (*Ascaris suum*) の感染状況を明らかにするとともに、駆虫の経済効果について検討した。豚回虫感染豚を駆虫群と無駆虫群に分け、増体重を比較したところ、駆虫群では体重 80kg に達する期間が約 2 週間短縮された。その経済効果は 1 頭当たり約 200 円と見積もられた。

家畜衛生試験場・細菌・寄生虫病研究部・上席研究官				連絡先	0298 (38) 7754
部会名	国際農業	専門	畜産	対象	豚
				分類	行政

〔背景・ねらい〕

メコンデルタを中心に営まれている農畜水複合生産体系は環境と調和した物質循環型農法として期待されているが、豚の生産性はきわめて低い状況にある。主な原因は低品位な飼料給与と推定されるが、疾病も豚生産性低下の重要な要因となっている。発展途上国では、第一の損耗要因として重視しなければならない疾病は寄生虫病、なかでも蠕虫性疾患である。そこで、農家に対する啓蒙資料の作成を目的に、豚回虫 (*Ascaris suum*) の感染状況を明らかにするとともに駆虫の経済効果について検討した。

〔成果の内容・特徴〕

1. カントー、ソクチャン、ピンロンおよびチャビン州の豚約 90 等について糞便検査を行ったところ、約半数の豚から豚回虫卵が検出された。感染率には地域差が認められたが、特にカントー大学周辺の農家では 100% と高い値を示した。
2. 豚回虫に感染したカントー大学農場の豚 3 頭に駆虫薬を 2 回投与、他の 3 頭を無処置対照群として増体重を比較した。その結果、投薬 2 日後より効果が認められ、3 日後には投薬群全頭で糞便中の回虫卵は陰性となった (図 1)。また、肥育完了時の体重を 80kg とすると、駆虫により肥育期間を約 2 週間短縮することができた (図 2)。
3. アンギャン省の農林水産物輸入会社の資料から換算すると、肥育期間 2 週間の短縮によって生じる経済便益は 1 頭当たり約 25,000 ベトナムドンであり、平成 11 年 1 月現在の為替レートによれば約 250 円となる。一方、駆虫には 2 回で 5,000 ベトナムドンを必要とすることから、駆虫の経済効果は 1 頭当たり約 20,000 ベトナムドン (約 200 円) と見積もられた。

〔成果の活用面・留意点〕

1. 寄生虫感染による被害の重要性を農家へ啓蒙する資料として活用できる。
2. 駆虫によって肥育期間が短縮されたことから、豚生産の回転効率が高くなる。また、ローテーションの間に空舎期間を設けることにより、他の疾病の防除にも役立つことが期待される。
3. 今回の試験はカントー大学の比較的良好な飼育条件下で実施され、農家の劣悪な飼育環境下ではさらに駆虫効果が高くなる可能性がある。豚回虫の駆虫を普及するためには、実際の農家の豚を用いた実証試験を実施する必要がある。

〔具体的データ〕

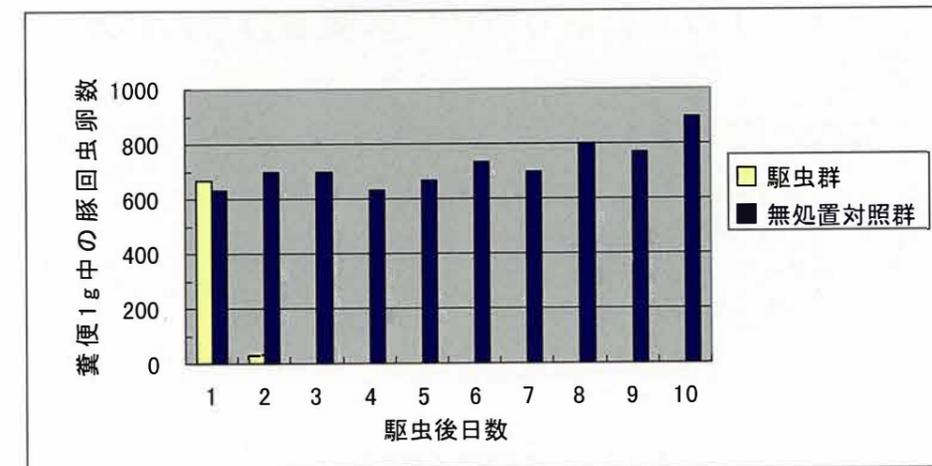


図 1 駆虫後の虫卵数の変化

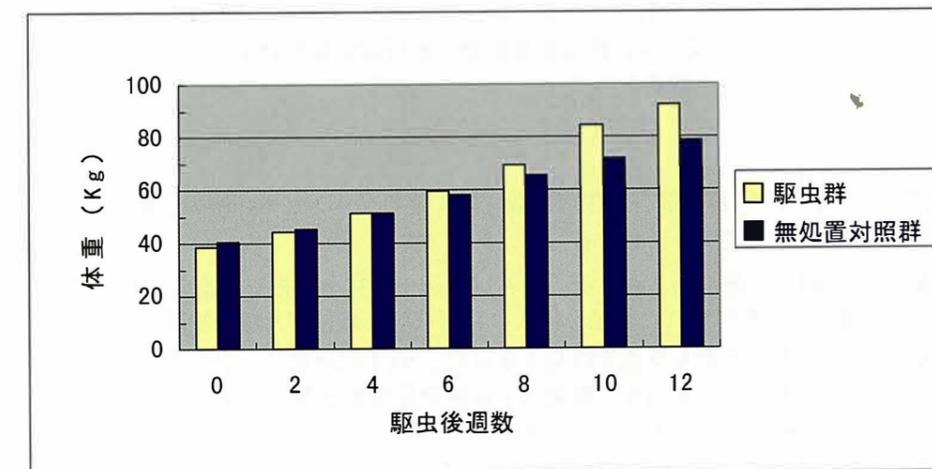


図 2 駆虫群と無処置群の増体

〔その他〕

研究課題名: メコンデルタファーミングシステムにおける畜産技術の改善

予算区分: 国際農業 [メコンデルタ]

研究期間: 平成 9 年度 (平成 7 ~ 9 年)

研究担当者: 吉原 忍

発表論文等: Helminths and helminthosis of pigs in the Mekong Delta, Vietnam with special reference to ascariasis and *Fasciolopsis buski* infection. JARQ 33: 193-199 (1999)